



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2016~2017年度クラブテーマ
会長 岩上 義明

●本日の例会/ 2017年 4月 14日 第1435回

卓話： 第5回クラブ協議会

テーマ：「定款・細則について」

●前回報告／2017年 4月 7日 第1434回例会

卓話：

イニシエーションスピーチ
戸泉 邦康 氏



会長報告：

- ① 福田栄二氏、金澤明彦氏 入会式
- ② 田村昭二氏へ RLI 卒業証書を授与



③ 地区新会員セミナーのご案内です。4月 25 日(火)15:00～研修セミナー、17:20～懇親会を開催。場所はハイアットリージェンシー東京 地下1階「クリスタル」登録料は10,000円です。是非ご参加ください。

熊本会員：

グレイス西藤道子様の追悼チャリティーコンサートのご案内です。5月 22 日(月)午後 6 時 00 分開演 午後 9 時終演 草月ホールにて開催です。よろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告：

① 4月 19 日(水)は東京麻布ロータリークラブとの合同例会です。これから出欠表を回覧いたしますので、ご記入をお願いいたします。その週の4月 21 日(金)は休会となりますので、お間違いないようお願いいたします。

② 本日は、例会後理事会となりますので、理事役員の方はよろしくお願ひいたします。

出席報告：会員 58名 / 出席 35名 欠席 23名

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1404 / 2017.04.14

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「未来に向かって 皆で一歩前へ進もう！」

慶事披露：

100%出席祝い：

高須 康有 君(28年)

吉岡 琢磨 君(26年)

石井 達 君(4年)



誕生日祝い：

橋本 年男 君(4月 2日)

入沢 賴二 君(4月 9日)

金山 駿 君(4月 12日)



ご欠席

的場 隆光 君(4/3)、辻 綾香 君(4/25)、羅 怡文(4/29)

新会員の紹介 4月 7日入会

福田 栄二 君
(Fukuda Eiji)

職業分類：損害保険

生年月日：1969年12月19日



事業所：株式会社アビームアソシエイツ
役職名：代表取締役
所在地：〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-8 不二ビル3階
紹介者：河邊 幸夫

金澤 明彦 君
(Kanazawa Akihiko)

職業分類：自然科学研究

生年月日：1959年12月4日



事業所：株式会社ダイナミック・アート研究所
役職名：代表取締役
所在地：〒141-0021 品川区上大崎 4-4-8
紹介者：西澤 民夫

4/7 イニシエーションスピーチ 戸泉 邦康 氏

本日は貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございます。この機会に私がどんな人間か、ルーツや生い立ち、仕事や趣味についてお話をできればと思います。私の家族の紹介を兼ねまして、皆様をお招きしたかった先日の披露宴の動画をまずはご覧頂ければと思います。ありがとうございました。
長谷川さん、ご列席頂きましてありがとうございました。

まずは私のルーツをご紹介させて頂きます。
戸泉という名前の謂われは、歴史の先生によると、元々は「扇泉」だったそうです。おそらく、甲府辺りの扇状地の先端で、水の湧くところという意味です。非常に土地が肥えて、農業には一番良いところだそうです。秀吉の北条攻めで、小田原城陥落以前に出城である八王子城の侍大将、戸泉某が戦死したという記録がある。(八王子に戸泉という苗字が多いらしい) その子孫が生きのびて、新宿の早稲田に茗荷畑を耕す農民になっていたようです。私の先祖の戸泉定吉氏(4代前)は地主でした。神楽坂の赤城神社で氏子総代をしていたそうです。私の父は一級建築士をしており、競馬場などの大型の特殊な商業施設の設計を専門としています。現在69歳ですが、まだ仕事を続けております。

父方の私の祖父は税理士をしており、会計事務所をやっていました。父方の先祖は自転車メーカー岡本自転車(現ナショナル自転車)の創業者や日本画家の速水御舟(祖母の母の弟)だそうです。私の母は、過去にJALの国際線CA、日本財団の会長秘書、税務の仕事をしておりました。母方の祖父は研究でウィルス学を専攻し、東京大学医学部名誉教授、日本ウイルス学会会長、昭和59年に由良三郎の名でサントリーミステリー大賞を受賞するなど、後年はミステリー作家をしておりました。母方の先祖は、銀座と赤坂で吉の家という小間物屋をしておりました。赤坂店は今もあります。また、私には弟がおり、弟は野村総合研究所で働いており、金融機関のシステムの開発をしています。

さて、これからは私の話をさせて頂きます。
私は1980年3月22日生まれで、現在37歳です。妻真央と長男賢人、長女が今月後半に産まれる予定です。

生まれてからは駒込で27歳まで実家暮らし、その後は赤坂、御殿山、六本木、大崎と引っ越しをし、現在にいたります。学校は、獨協中学・高校・大学(経済学部 経済学科)を卒業しました。部活はテニス部でした。

社会人歴は、USENという通信会社に入社し、半年で新卒330人中1位の営業成績となりますが、新しい事にチャレンジがしたくなり、当時、始まったばかりのインターネット広告会社のデジタル・アドバタイジング・コンソーシアムに転職します。DACでは、広告主様のインターネット広告のプラン設計や広告枠の買付を担い、電車で帰れる日はほとんどない深夜残業の日々でした。

仕事が大好きでストイックに取り組むため、お取引先様であった自動車情報サイトカービューからオ

ファーを頂き、転職。広告宣伝・営業を担当する事になりました。仕事が評価され、入社半年、25歳でマーケティング統括担当部長となり、10数億円の広告費を運用し、高い費用対効果を達成します。また、自動車メーカー様からの広告を多数受注し、2007年にマザーズ上場を果たします。カービューの元上司がレントラックスというアフィリエイトサービスプロバイダー事業で起業をし、オファーを頂き参画。そのグループの新規事業でネット証券会社をM&Aし、セブンインベスターズという会社の代表に就任します。27歳の時に資本金3億の会社を任せられ、その後、ファンドからM&Aの打診があり、人員以外の会社の箱を売却しました。保険会社との縁は、グループ代表の金子が福利厚生の保険に加入し、私も書類にサインをしたのがきっかけでした。金子が、保険プランナーはとても良いと仕事だと言っていたのが印象に残っています。会社売却後は親会社に戻り、インターネットやモバイルの課金コンテンツのサイトの運営をしていましたが、土日に趣味で主催していた交流会に、多数のプルデンシャルの方が参加され、その皆さんにとっても優秀でお人柄も良い方ばかりであったため、興味を持つようになりました。プルデンシャルの本を全て読み、チャンピオンになった方にメールをさせて頂くと、ご丁寧な返事を頂きました。ご縁があり、東京第一支社 第1営業所という、名門で過去に何度もチャンピオンになっている支社に採用される事となりました。

ここで、プルデンシャルについて少しご説明をさせて頂きます。

当社はNYの東にあるニューアークを本社とする世界最大級のアメリカの金融機関です。大企業の退職金や企業年金運用から、個人保険まで、幅広い金融事業をしています。預かり総資産は約130兆円です。歴史は1875年創業、「社会の絆である人間愛と家族愛の普及の原理を実現すること」が企業理念です。当時のアメリカは経済恐慌に見舞われ、家族の埋葬費を捻出することさえ困難な時代。保険は高額で、一握りの富裕層のためのものでした。そこで当社は、「3 Cents A Week」週に3セントで加入できる一般向けの保険をアメリカで販売し、圧倒的な支持と信頼を得るようになりました。当社のシンボルは、スペイン最南端にあるジブラルタルロックです。航海をする船が目印としていた、世界一大きくて屈強な一枚岩です。プルデンシャルの語源はかたい、慎重などという意味です。盤石な経営をしている金融機関である事を示しています。当社の日本の事業展開は、過去にIBMの社外取締役としていたソニーの安藤さんと当社の役員が意気投合し、1979年に日本でソニープルデンシャルという金融事業をスタートしたのがはじまりです。ソニーは金融事業へ進出をしたく、プルデンシャルは日本で金融事業をしたかったという思惑が一致したようです。その後、両社は別々に金融事業を行うようになり、今日に至ります。プルデンシャルの本社は赤坂見附の駅前のプルデンシャルタワーです。ホテルニュージャパン、ニューラテンクオーターの跡地を当社と森ビルが共同所有しています。

プルデンシャルのライフプランナーは、業界で高い評価を頂いており、保険業界全体が現状維持や海外進出、停滞をしていく中、急成長を遂げています。国内の新契約のシェアではグループで3位までできており、将来的にはトップシェアもみえてきています。当社が意識をしているのは業界内の企業ではなく、例えばリッカールトンといった学ぶべき他業種企業です。リッカールトンのゴールドスタンダードのように価値観と理念を結集した「企業理念」が、当社においても、社員1人1人に浸透しているため、それがブランドとなり、高業績につながっています。私も日々の活動の中で、当社にすでにご加入頂いているお客様にお会いする事が多くありますが、決まって、担当の○○さんがとても良い方で満足しているとお言葉を頂き、嬉しく思っています。

プルデンシャルの成長の秘訣はいくつかありますが、企业文化以外にも、組織構造、採用、教育、表彰などがあげられます。当社は、ライフプランナーから社長までがフラットな組織構造で、社長よりも報酬の高い社員がたくさんいますし、360度評価のようなものもなく、評価は数字のみです。数字が上がっている=顧客に貢献しており、良い人間性を持っていると判断しています。キャリアに関しても、野球で例えるなら、4番バッターでい続けても良いし、途中で監督になっても良く、どちらのレイヤーが上という事はありません。採用は同業他社からはせず、他業種の優秀な方をヘッドハンティングし、『ブルーブック』と呼ばれる当社独自の教育カリキュラムを受けます。全業種から営業のトッププレイヤーが集まり、営業甲子園のような雰囲気です。表彰については、優秀な成績を収めると、家族連れで海外旅行がプレゼントされます。

保険業界では、年単位で優秀な成績をおさめた方に対して、MDRTミリオンデラーラウンドテーブルという資格を発行しています。保険募集人は国内に122万人おり、そのうち上位約4,400人がこの資格を持っています。あまり知られてはいませんが、MDRTの3倍以上の基準をクリアするとCOTコートオブザテーブル（国内200人）、6倍以上でTOT（国内20人）という資格があり、TOTトップオブザテーブルやCOTは業界では一目置かれた存在となっています。当社はこのMDRTの会員数が19年連続No.1となっています。

当社では様々なボランティア活動を行っており、主なものは、ボランティアスピリットアワードという青少年のボランティア活動の表彰、メイクアウェイッシュという難病の子供の夢をかなえる団体の支援、東北復興支援活動（数百名でフラワーガーデン作り）、最近では寄付講座（営業という仕事の醍醐味を伝える内容のもの）を東北大、青学、慶応、中央大学で行っており、かなりの人気講座となっています。

さて、入社の頃の話に戻ります。

以前のビジネススタイルはカジュアルでしたが、思考から髪型、スタイルまでを全て入れ替え、支社の隣りに引越し、朝一番に支社の電気を付け、深夜に電気を消して帰る生活を続けました。なぜなら、チャンピオンになると宣言して入社をしたからです。結果、初年度に支社チャンピオンを達成。両親をハワイの表彰式

に連れていく事ができました。3年目の第1Q、初めてのスランプを経験します。ご契約が頂けず、営業所で開かれた鮨コンテスト（目標数字を超えたお鮨をご馳走になる企画）に入賞できず、ガリだけを食べていると、ベテランの三浦先輩という方が声をかけてくださいました。お前が本気で成功したいなら、俺のノウハウを全て教えてやる！との事で、朝練が始まりました。第3Qで営業所は全国で2位。営業所長の清水が涙を流しながら、2位なら記録にも記憶にも残らない。1位になって、皆でジブラルタロックを登ろう！と語りました。それから猛烈に仕事をし、結果、営業所チャンピオンに輝きました。個人でも3,200人中、年間成績11位のスーパーゴールドプライズ表彰となり、営業所で1番大きな数字の貢献と、目標であったCOT（コート・オブ・ザ・テーブル）の資格を得る事ができました。

この年は弊社の25周年であったため、コンベンションはNYで開催され、世界で一番高額な広告枠と言われるタイムズスクエアに顔写真を掲載してもらいました。弊社の全世界のトップメンバーが集まる、インターナショナルのロンドン表彰式にも両親を連れていく事ができ、また、営業所長のおごりで、ジブラルタロックの旅に連れて行ってもらいました。

お客様とのドラマはたくさんありますが、お会いした当初、駅から離れた小さなビルにあった会社様のお話をさせて頂きます。人徳のある方で、あつという間にターミナル駅前の最新ビルにオフィスを構えるようになり、ご契約をお預かりさせて頂いています。この経営者様からある日、預けたいものがあるとご連絡があり、お伺いすると、その方に何かがあった時に、この手紙を家族に渡してほしいと、想いを綴ったお手紙をお預かりしました。一生懸命仕事をして本当に良かったと感じた瞬間で、ご契約を頂く事より何よりも嬉しい出来事でした。仕事を通じて、嬉し泣きができるような感動をご提供したい、感動する機会に恵まれたと思っていました。皆様の人生の良きキャディになれるよう、将来、あの時、戸泉と出会って良かったと言って頂けるように、お役立ちできるようにと仕事にはげんでいます。

私がしています具体的な仕事につきましては、法人様向けの事業保険設計、退職金設計です。

ここからは趣味のお話をさせて頂きます。
私の趣味はモータースポーツと、マリンスポーツです。A級ライセンスとカートB級ライセンスをもっており、F4、FJ、ヴィータ、アルトのレーシングカー、125ccのレーシングカート、市販車、クラシックカー、レーシングシミュレーターなど幅広く体験をしています。東京エリアのロータリーの車好きで集まり、K4GP10時間耐久レースに出たり、(麻布ロータリーの加藤さんからのお誘いです)、ラフェスタミッレミリアという1,000マイルを走るクラシックカーラリーに出た事があります。一番好きなのはレーシングカートで、コーナリングではあがら骨にヒビが入った事が何度もあるくらいです。

マリンスポーツは、1級船舶免許、特殊船舶免許を持っており、クルーザー、モーター、ウェイクボード、スキーパ、ロングボード、SAP、釣り全般（カジキのトローリングからブラックバス釣りまで）をしています。趣味は今後も増やしていきたいと思っています。

今関心があるのは子供の教育です。息子は1歳から、麻布のインターナショナルスクールに通っています。子供たちには世界に貢献できる人材になってほしいと願っています。今後は、なるべくたくさん子を授かりたいのと、子供たちと世界中を旅したいと思っています。

また、ロータリーの人生の大先輩の皆様から、様々な事を学ばせて頂けましたら、と考えております。

東京赤坂ロータリークラブとのご縁を頂いた長谷川さん、誠にありがとうございました。

皆様、ご清聴、誠にありがとうございました。



4月7日 22件 44,000円

累計1,120,500円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明・小林博茂/戸泉さん本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしてました。河邊幸夫/福田さん、金澤さん入会おめでとうございます。藤本さん初ニコニコお疲れ様です。岩上会長、火曜会のあと大勢でお世話になりました。入沢頼二・尾関武男・高須康有・石井達・藤井万博・熊本誠司/戸泉さん、イニシエーションスピーチよろしくお願ひします。藤本さん初ニコニコご苦労様です。西澤民夫/戸泉さん楽しみにしています。福田さん、金澤さん、大歓迎です。土屋東一/藤本さんニコニコご苦労様です。清水實/戸泉さんイニシエーションスピーチ期待してます。吉岡琢磨/皆勤賞有難うございます。戸泉さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。橋本年男/喜寿と成りました。ありがとうございました。清水さん追いつきました。抜くことはできませんが。金澤さん、福田さん入会おめでとうございます。田村昭二/京都親睦旅行まで桜はもちそうですね。島本幸治/藤本さんニコニコお疲れ様です。戸泉邦康/本日はイニシエーションスピーチさせて頂きます。大先輩方の前で大変恐縮ですが、一生懸命お話しいたしますのでどうぞよろしくお願ひ致します。永滋康/戸泉さんイニシエーションがんばって下さい！金山驍/誕生日お祝いありがとうございます。戸泉さんスピーチ楽しみにしております。藤本さん初ニコニコお疲れ様です。藤井宏章/戸泉さんスピーチ楽しみにしております。勉強させてください。木下京子/戸泉さんのスピーチ楽しみにしています。藤本亮/初ニコニコ読み上げます。緊張します。戸泉さん楽しみです。

●次回予告 / 2017年4月19日(水)第1436回例会

東京麻布RC・東京赤坂RC 合同例会(12:30~)

場所 : ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1 「グローリー」

卓話 : 「東京オリンピック、
そして2024年に向かって」

日本ローラースポーツ連盟
競技力強化委員会副委員 高萩 昌利 様

※ 4月21日(金)は休会となります。

「触れる地球」に恋して

コンピュータ「京」が、世界一だった頃、地球に関するあらゆるデータを入力して、作り上げたデジタル地球儀「触れる地球」。地球の1000万分の一の大きさで、たくさんのシュミレーションがきれいな地球を駆け回ります。

2007年?ごろから大手町で三菱地所とのコラボで開催されていた「地球大学」という市民大学で、出会ってから、私はこの地球儀にはれ込んでしまいました。

特に、京都議定書から地球の温暖化が議論されていた頃で、この地球儀は、将来の状況を可視化することが出来ました。特に、その中でも私が一番好きで、友人たちを連れて行つては、「触り」ながら、2050年あたりに地球がどんな状態になるかと話せるようにさえなりました。温暖化で一番顕著にわかる状況は北極海の氷河や、エベレストの氷が融けるという状態で、この影響が何に現れるか、まさに可視化して見せてくれるのです。例えば北極海の氷河が融けると海水との比重の関係で海流に大きな変化が起きてくる。大西洋岸を北に向かう暖流と、寒流が入れ替わることで欧洲に大寒波が起きる、南にいけばメキシコ湾で、巨大なハリケーンが起きる。エベレストの氷がとければ、東南アジアで洪水が頻発し、中国奥地あたりは、砂漠化が進む。

地球儀でシュミレーションしたことが20年たった今、実際に幾度も目にすることになりました。単なる異常気象では済まされない原因があるのです。

もう一つの興味はやはり「地震」でした。

過去の地震のデータを見ると、汎太平洋地域はプレートの境で地球全体の中でも一番の地震地帯だということが言葉や文書ではなく、可視化されるのです。その地震地帯の上に、原子力発電所を数多く作って危険はないのか。またインドネシアで起きた津波がどんなスピードでどんな被害が出たかなど、実際に起こったこと、これから予想されることが「見える」ということは、有意義なことだと思います。

その後、「触れる地球」は洞爺湖サミットで各国首脳にお披露目されたのですが、中心になっていた発案者の竹村真一教授（京都造形芸術大学）は、この地球儀を全国の小学校に置くことが一つの目標だとされていました。日本でも世界でも、将来・未来のある子供たちに「見える」ことが重要なのです。というわけで、これから私の一番の関心事は、地球温暖化問題になっているのです。

「触れる地球」は「3×3Lab Future」(大手門タワーJXビル1F)の「触れる地球コーナー」に5台常設展示をしております。是非触れて、シュミレーションを体験してみてください。

百聞は一見にしかずです。 <http://tangible-earth.com>

